

総 評

概ね昨年度の問題形式と同様の内容であった。また、教科書改訂により追加された文法のうち、原形不定詞が第3問、現在完了進行形が第四問の長文に1回出てきた。毎年出題されていた代動詞を使って答える英問英答が出題されなかった。

第二問の文法問題では基本的な内容が多く、また第三問と第四問の長文読解では、昨年度と同様に、本文を正しく読むことができれば正答できる問題が多かった。中3で習う間接疑問と関係代名詞が散見されるが、基本を理解していれば読むことができるレベルの文章であった。第五問の英作文は、日本文化に興味がある留学生の歓迎会で何をしたいかを書く問題であった。難しい表現は使わずに書くことができるため、書きやすかったと考えられる。全体的に、あすなる学院の通常授業で基本事項を学び、入試対策のゼミで演習を重ねれば正答できる問題が多かった。

難易度・出題形式

【第一問】リスニング〈標準〉

昨年同様の出題形式。実戦ゼミと直前特訓ゼミで演習を積めば十分正答できる内容であった。

【第二問】適語選択・適語補充・語順整序〈易〉

昨年度と同様の出題形式。中3内容：1題、中2内容：4題、中1内容：2題が出題された。すべて基本的な内容であり、講習会やゼミで扱っていたため、十分正答できる問題である。

【第三問】長文読解〈標準〉

一昨年の出題形式に近い内容であったが、直前特訓ゼミで同様の形式の問題は扱っていた。本文から4語で抜き出すという最後の問題が正答できているかがポイントである。

【第四問】長文読解〈標準〉

昨年度と同様の出題形式。3人の登場人物の職業紹介に関する読解問題であった。昨年度よりも文章量が減っており、設問もシンプルなものが多かった。設問の指示に従い、誰の意見に注目すればよいかを落ち着いて判断し、本文が正しく読めていれば正答できる問題が多かった。実戦ゼミや直前特訓ゼミで長文読解の練習を積んでいれば十分に対応できるレベルである。

【第五問】英作文〈やや易〉

昨年度の出題形式とほぼ同様であった。3文以上の英作文のテーマは、日本文化に興味がある留学生の歓迎会で何をしたいかを書く問題であり、難しい表現は使わずに書けるものであった。つづり間違いをしないように注意したい。